

『日本E U学会年報』執筆要領

1. 分量

論文：日本語20,000字以内、英語 7,000ワード以内

書評：日本語 4,000字以内、英語 1,500ワード以内

文字数のカウントには、ワープロソフトの文字カウント機能において、脚注を数える設定にすること。またスペースは数えなくて良い。

図表は、刷り上がり1ページを占める場合には945文字(35字×27行)として換算する。

英文の場合の図表は、1ページあたり310ワード(10ワード×31行)として換算する。

※分量の超過は、査読段階での審査対象になりますので、ご注意ください。

2. 形式

原則として電子ファイル(ワード形式もしくは一太郎形式)

3. 言語

原則として日本語または英語

4. 締切日(必着)

第1次締切日：毎年10月20日

※上記締め切り日までに提出がなかった場合は年報掲載資格が失われます。

最終原稿締切日：査読結果通知後約3週間後(編集委員長が定める日)

※上記締め切り日までに原稿が提出されなかった場合は、投稿を辞退したものとみなします。

5. 第1次締め切り日までに提出するもの

①完成原稿(電子メールの添付ファイル)

保存文書のタイトルは、以下を参照にして、氏名・内容が分かるようにすること。

(例：①E U太郎・本文、②E U太郎・図表、等)

②1,000字以内の要約(英文等の場合は300~400ワード)

③査読用の論文および要旨：投稿者は、氏名、ヘッダー、「拙著」など、投稿者が容易に特定できるような表現を控えた論文および要旨を別ファイルにて同時送信すること。
(電子メールの添付ファイル)

6. 査読結果の通知

審査結果は、研究大会終了後、約1カ月程度内に本人に通知する。

その際、掲載を許可した論文についても、必要に応じて修正等を求める。

また、再査読の通知を受けた者は、編集委員長が定める最終締め切り日までに再投稿を認め、1月下旬頃までに再査読結果を通知する。

7. 最終原稿締め切り日までに提出するもの

①最終原稿

注：研究大会報告者は、当日の質疑応答を最終原稿の提出にあたって追加すること。
(質問者の所属・氏名を明記の上、要旨を簡単にまとめるか、論文中に質疑応答の内容を組み入れるという形式のどちらでもかまわない。)

②英文サマリー (Analytic Summary)。分量は300～400ワード。

③以下の諸情報：

執筆者の氏名 (カタカナ)、「所属・職位」、出生年。

原稿の英文タイトルおよび氏名の英文表記

最も確実な連絡先 (住所、電話・FAX番号およびメール・アドレス)

ゲラ送付先の正確な住所

(原稿送付後、校正期間 (1月から3月) に海外出張の予定がある者は、所属先の事務室または家族にゲラ送付がある旨伝言し、適切な対応をとること。)

※①～③を原則として、電子メールの添付ファイルで編集委員長が指定するアドレスに送信すること。

保存文書のタイトルは、以下を参照にして、氏名・内容が分かるようにすること。

(例：①E U太郎・本文、②E U太郎・英文サマリー、③E U太郎・連絡先、等)

なお、図表等がある場合は、別ファイルでも構わない。

8. 校正

執筆者校正は再校までとし、校正段階での加筆修正は原則として認めない。大幅な修正を校正段階で行った場合は、掲載を取り消す場合があるので十分に注意すること。

9. 発行日

原則として翌年の4月1日を発行日とし、4月中に各会員へ年報を送付する予定である。

10. 本学会ホームページ (<http://www.eusa-japan.org/index.html>) に掲載されている「『日本E U学会年報』投稿規程」「『日本E U学会年報』投稿原稿レフェリー規程」を執筆に当たって参照されたい。

日本E U学会理事会決定

(1995年6月15日決定、2007年5月26日改正、2007年11月24日改正、2008年5月31日、2009年11月14日改正、2011年11月5日改正、2014年04月19日改正)

※ 執筆に当たって疑問点があれば、編集委員長宛にメールでお問い合わせ下さい。

日本E U学会編集委員長 高屋 定美

takaya*kansai-u.ac.jp (*を@に替えて下さい)